

永福YA通信

10月特集 「たべる」

永福YA通信10月号のテーマは「たべる」です。人間はもとより、生き物にとって必要な何かを「たべる」ということを、あらゆる角度から考え、書かれた本を紹介しします。明日からのたべ方、たべものへの見方が変わってくるかもしれません。

歴メシ！ 世界の歴史料理をおいしく食べる

遠藤雅司／著 柏書房
請求記号:596エ



最古のパン、中世のシチュー、ルネサンスの健康食…。「再現料理」のレシピと「当時の食文化」に関するエッセイで構成された、作って食べて読んで楽しむ一冊です。どんな時代であっても切り離すことのできない人と食。自分の舌と胃と想像力で、食のタイムトラベルに出かけてみませんか。



おにぎりの文化史 おにぎりはじめて物語

横浜市歴史博物館／監修 河出書房新社
請求記号:383.8カ



現代日本では、家庭の手づくりからコンビニのおにぎりまで、様々なおにぎりが作られている。「おにぎり」「おむすび」「握り飯」と呼び方も様々。また、形も丸、三角、俵とあり、バリエーションも豊富である。では、いつ頃からおにぎりは、あったのだろう？いつ頃から、海苔は巻かれていたのだろう？文献や、考古資料などから「おにぎりの歴史」に迫る。



もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら

神田 桂一／著 宝島社
請求記号:779.1カ



一度は食べたことがある、カップ焼きそば。その容器に書かれた「作り方」を、星野源が書いたら…。村上春樹や太宰治、コナン・ドイル等、その人の作品は読んだことがないけれど、名前は聞いたことがある有名著名な作家や、新聞、雑誌、インスタ、迷惑メール?!等々、多彩な文体で「カップ焼きそばの作り方」が綴られています。どの「作り方」が、一番おいしくできると思う??





たべる

僕らのごはんは明日で待ってる

瀬尾まいこ／著 幻冬舎

請求記号:セ044

「たべる」行為によって運ばれた「食」の栄養は、身体はもちろん心にもしみわたり、生きる力になります。この小説の主人公たちが口運ぶものの中にも、生きる力になる「食」があります。簡単に手に入るものですが、手渡したり手渡されたり、お互いの手や言葉を介した時、誰かと自分との特別な「食」になるのです。あなたにもそんな「食」はありますか？



ヤングアダルト



YA向け新刊情報

「ハッピーな部活」の作り方

中澤篤史／著 内田良／著 岩波書店

請求記号:A(岩波ジュニア新書)

「部活」楽しんでやっていますか！なんとな～く中学に入ったらどっかの部活に入らなくちゃいけないから、見学行って、入部して、活動して…。そんな感じになってないですか？この本を読んで、自分と部活について一度立ち止まって考えてみていいかも！？



秋の自殺予防月間展示「しおりに心をこめて…」を行いました。

9月のYAコーナーでは「杉並区秋の自殺予防月間」に合わせて、前回も好評だった『しおりに心をこめて』の展示を行いました。展示期間は終了しましたが、これまで作った手作りのしおりは、YAコーナーのファイルに綴じて、いつでも見られるようになっています。紹介されている本と一緒にぜひ読んでみてくださいね。



永福YA通信 2019年10月号 (Vol.16)

編集・発行:杉並区立永福図書館

〒168-0064 東京都杉並区永福4-25-7

☎ 03-3322-7141

<杉並区立図書館ホームページ>

<https://www.library.city.suginami.t>

<モバイル専用>

杉並区立図書館

ホームページ QRコード

こちらからアクセスできます👉



※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。